

葛屋重三郎と版元列伝

2025 年 8 月 30 日（土）～ 11 月 3 日（月・祝）

前期 8 月 30 日（土）～ 9 月 28 日（日）

後期 10 月 3 日（金）～ 11 月 3 日（月・祝）※前後期で全点展示替え



葛屋重三郎だけじゃない！ 12の版元と紐解く浮世絵アナザーストーリー

NHK 大河ドラマ「べらぼう～葛屋栄華乃夢噺～」が江戸の版元、葛屋重三郎を主人公にとりあげたことを受け、2025 年は各地の美術館や博物館で葛屋や江戸時代の出版をテーマにした展覧会が数多く開催されてきました。ドラマも佳境を迎えるこの秋、太田記念美術館でも版元という視点から浮世絵をご紹介します展覧会を開催いたします。

ご覧いただくの葛屋だけではありません。浮世絵草創期から明治時代にいたる約 230 年にわたり、時代を彩った 12 の版元に注目し、それぞれの企画力や戦略により浮世絵がどのように発展していったのかをご紹介します。版元の眼差しを通して浮世絵の歴史を振り返る本展は、浮世絵専門館である当館ならではの企画といえるでしょう。

〔とりあげる版元〕

葛屋重三郎、鱗形屋、鶴屋喜右衛門、奥村屋、西村屋与八、和泉屋市兵衛、須原屋、西村源六、永楽屋東四郎、竹内孫八、松木平吉、秋山武右衛門

葛屋と巨匠たちー歌麿・写楽・重政・春章・清長ー

葛屋重三郎は、喜多川歌麿や東洲斎写楽をプロデュースしたことで有名ですが、ほかにも、北尾重政や勝川春章、また鳥居清長など時代を代表する一流絵師たちの作品も手がけています。本展では葛屋と彼らトップ絵師による名品の数々を展示いたします。なかでも歌麿作品では美しい狂歌絵本や、女性の顔を大きくとらえ一世を風靡した「美人大首絵」の名品を、また写楽は、世界で太田記念美術館だけが所蔵する「七代目片岡仁左衛門の紀の大臣名虎」を含め、前後期あわせて所蔵品 15 点すべてをご覧ください。

北斎「富嶽三十六景」、広重「東海道五拾三次」の影にも名版元あり！

後世に名を残す一流絵師を育てた敏腕版元は、葛屋重三郎だけではありません。最初の浮世絵師である菱川師宣とタッグを組んだ鶴屋喜右衛門や鱗形屋。葛飾北斎に目をかけ「富嶽三十六景」シリーズも手がけた西村屋与八や、新興版元ながら歌川広重「東海道五拾三次之内」シリーズを成功させた竹内孫八。さらに明治時代に新しい表現を求め、小林清親と組み「光線画」を世に出した松木平吉に、「月百姿」シリーズなど月岡芳年の名品を次々と生み出した秋山武右衛門。本展では語り継がれる名作を出版した、版元たちの業績をご紹介します。

知られざる二代目葛屋重三郎の仕事も紹介

葛屋重三郎は一人だけではなく、実は五代目まで続いていました。本展では初代の跡を継いだ二代目が葛飾北斎と組み出版した作品を中心に、二代目の出版物もご紹介いたします。

版元：蔦屋重三郎



(1) 喜多川歌麿「婦女人相十品 文読む女」(前期)

版元：蔦屋重三郎



(2) 東洲斎写楽「市川蝦蔵の竹村定之進」(後期)

版元：鱗形屋孫兵衛



(3) 石川豊信「二代目瀬川吉次の石橋」(前期)

版元：蔦屋重三郎



(4) 喜多川歌麿「富本豊ひな」(後期)

版元：蔦屋重三郎



(5) 東洲斎写楽「中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の船宿かな川やの権」(前期)

版元：和泉屋市兵衛



(6) 歌川豊国「役者舞台之姿絵 まさつや」(後期)

版元：秋山武右衛門



(7) 月岡芳年「月百姿 嫦娥奔月」(後期)

版元：西村屋与八



(8) 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(前期)

版元：竹内孫八



(9) 歌川広重「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」(後期)

版元：鶴屋喜右衛門



(9) 近行遠通撰「菱川師宣画『江戸雀』(後期)

版元：松木平吉



(9) 小林清親「東京新大橋雨中図」(前期)

今秋の展覧会シーズンは5館を巡る〈五館連携 蔦重手引草〉

大東急記念文庫、印刷博物館、国文学研究資料館、たばこと塩の博物館、そして太田記念美術館による「五館連携 蔦重手引草」を開催いたします。文学史、浮世絵史、近世史、印刷史の各分野で、ニッチな専門性を持った5館がそれぞれの切り口で蔦屋重三郎をとりあげ、よりディープにその世界を知ってもらおうという企画です。伝説の漫画家、一ノ関圭氏*の描き下ろしイラストをデザインしたカードも配布予定（各館、先着2,000枚）。

※詳細は各館ホームページをご確認ください。

*一ノ関圭・・・作品に時代劇漫画『茶箱広重』、『鼻紙写楽』など。後者では第20回手塚治虫文化賞・大賞および第45回日本漫画家協会賞・大賞（ともに2016年）を受賞。

タイトル 蔦屋重三郎と版元列伝

英タイトル Tsutaya Jūzaburō and the Chronicles of Publishers

会 期 2025年8月30日（土）～11月3日（月・祝）

前期 8月30日（土）～9月28日（日）

後期 10月3日（金）～11月3日（月・祝） ※前後期で全点展示替え

開館時間 午前10時30分～午後5時30分（入館5時まで）

休館日 9月1日、8日、16日、22日、29日・10月2日、6日、14日、20日、27日

入館料 一般 1200円 大高生 800円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅（表参道口）より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅（5番出口）より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600（ハローダイヤル）

公式サイト <https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式X（旧Twitter） @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail media@ukiyoe-ota-muse.jp

企画担当：赤木美智 広報担当：金塚さくら



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら